

## 道志村への水源林木材の寄附について

## 1 道志村と横浜市の関係

横浜市は大正 5（1916）年に、山梨県道志村の面積約 3 分の 1 にあたる水源林を取得して以来、現地に管理事務所を設置し、約 100 年に渡る維持管理を行っています。

明治 30 年に横浜市が道志川から取水を開始して以降、道志村とは水を通じて固い絆で結ばれており、友好関係が続いています。将来にわたって末永く友好交流を続けていくために、平成 16 年に「横浜市と道志村の友好・交流に関する協定書」を締結しました。

## 2 道志村からの依頼

平成 26 年 5 月、富士東部線林道工事で伐採した当局水源林の木材を道志小学校・道志中学校の改築に使用したいとのことで、提供を依頼されました。

## ○ 富士東部線林道工事

山梨県の施工で昭和 58 年から推進されています。

平成 22 年度末に水道局が土地使用承諾をした上で、横浜市の公有林内で 23 年度から 27 年度までの予定で施工されています。

この林道整備のために水源林の一部を伐採しています。



(26 年度の林道工事現場の様子)

## ○ 道志小学校・道志中学校改築基本計画

既存の道志小学校と中学校は耐震性や防災上に問題があることから、平成 25 年度に策定されました。

## \* 建替のコンセプト

『児童・生徒にやさしく、ぬくもりのある空間づくり～自然と調和する校舎』

「道志村の自然に恵まれ、森林面積が 94% を占める豊かな森林、澄んだ清流の道志川などの地域特性を最大限活かし、地場の木材を使用する自然と調和する校舎とする。」

\* 予定（既存の中学校の敷地に小・中学校一体の校舎を建築します。）

	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
中学校(第1期工事)<新築>			→			
中学校(第2期工事)<解体・新築>			→			
小学校<新築>			→			

### 3 伐採した木材の寄附

平成 28 年（2016 年）に水源林取得 100 年を迎えます。

100 年間の感謝と、将来に渡り道志村と横浜市の友好関係が続くことを願い、木材を道志村に寄附することとします。

(内容)・寄附する木材 = 約 1,730 本

[H25 632 本、H26 800 本、H27 約 300 本 (推計)]

注：木材の価値 = 約 150 万円

(条件)・搬出は道志村の対応とします。

・校舎完成時には、本市から寄附した木材が使用されていることを明示いただきます。

(手続)・道志村と協議を進め、年内を目途に協定書を締結し寄附します。

#### 【参考】

